

■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.3m以上離してください。

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
 - 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
 - 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- LEDユニットについて
- 光束維持時間は40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
 - LEDのみの交換はできません。
 - LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
 - LEDにはパツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
 - 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- 器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
 - 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて		
保証について	修理を依頼されるとき	
●この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。 但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 ●グロー点灯管、電池などの消耗品は、対象外です。 ●24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 ●取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。	●ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 ●ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。	

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 XD53983・XD53984

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

！ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	⊘ 禁止	(一社)日本照明工業会・断熱遮音施工用埋込形照明器具SG1形適合品です。マット敷工法(建築用断熱材JIS A 9521)で施工された天井に使用することができます。 ブローイング工法(吹込み用繊維質断熱材JIS A 9523)および特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。 →火災の原因になります。 外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。 <マット敷工法> <ブローイング工法>
⊘ 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。→器具の落下によるけがの原因になります。		
	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。		
	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。	！ 厳守	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。→照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
⊘ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。		
⚡ アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。		

! 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。		
⊘ 接触禁止 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	⊘ 禁止	周囲温度5〜35℃、湿度45〜85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
⊘ 水ぬれ禁止 この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。	! 厳守	表示された電源電圧以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止 ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8〜10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
⊘ 禁止 ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。 使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。		照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。 照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。 黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
XD53983	AC100V	0.72A	70W	LED
	AC200V	0.36A	68W	
	AC254V	0.29A	68W	
XD53984	AC100V	0.48A	47.0W	
	AC200V	0.24A	46.0W	
	AC254V	0.19A	46.0W	

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

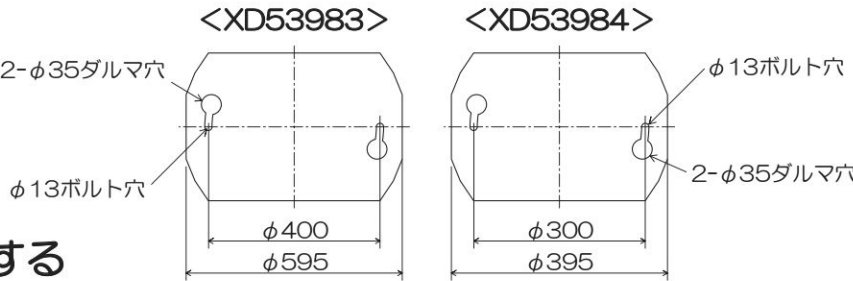
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 天井に埋込穴をあける

タイプ	型 番	埋込穴寸法
φ600タイプ	XD53983	φ600 ±2mm
φ400タイプ	XD53984	φ400 ±2mm

3 取付ピッチ

右図は器具を取付面から見た図です。

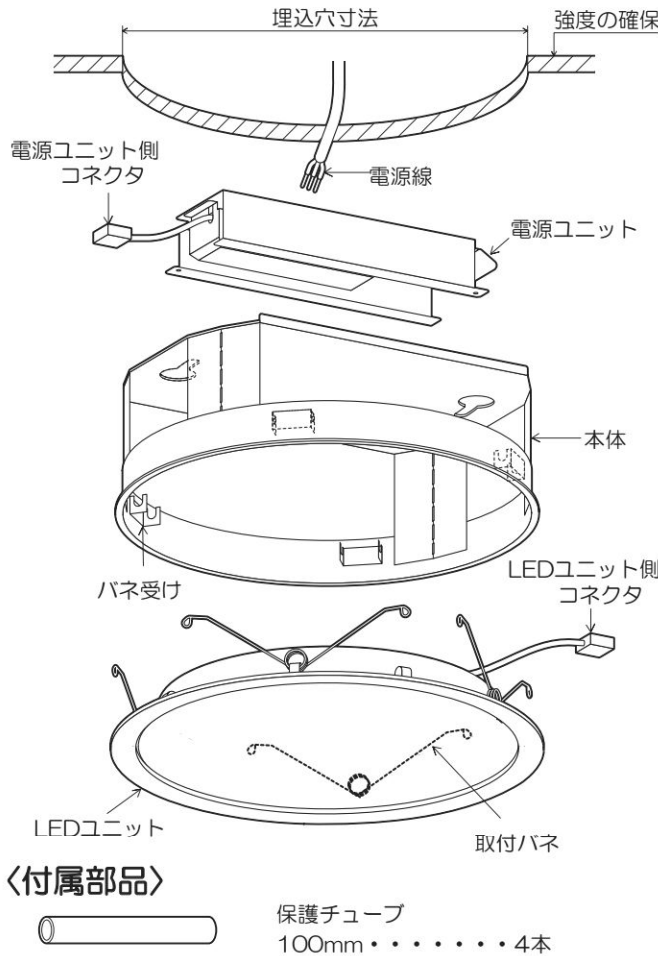


4 器具の取付けは2人で作業する

φ600タイプについては、2人で作業をおこなってください。
器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

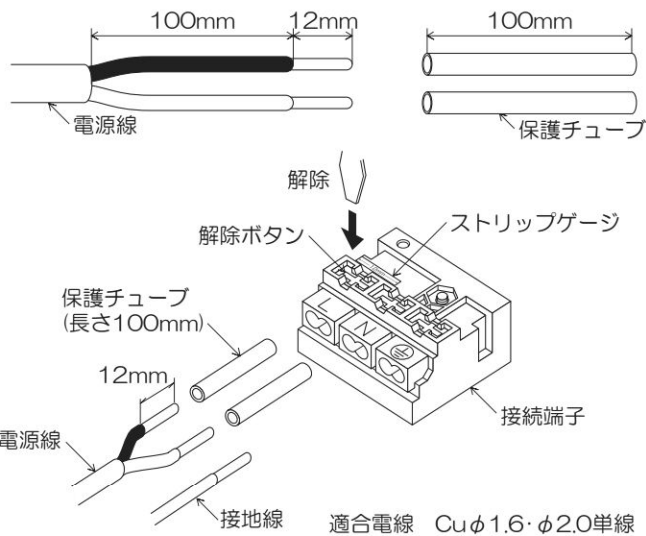


1 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、必ず付属の保護チューブに通してから接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(最大送り容量10A以下)
外す時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

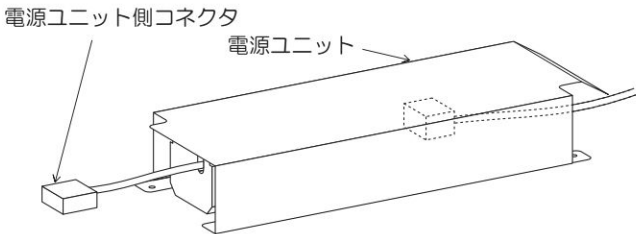
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合、保護チューブを使用しない場合は火災・感電の原因になります。



2 電源ユニットを設置する

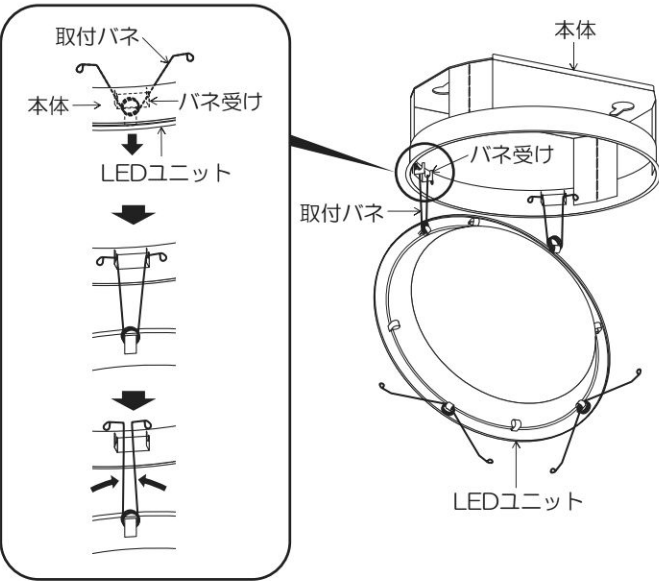
電源ユニットを埋込穴より天井に入れ、電源ユニットが横転・逆転しないように設置する。



※電源ユニット側コネクタを天井穴方向に向けて取付けてください。

3 LEDユニットを本体から取外す

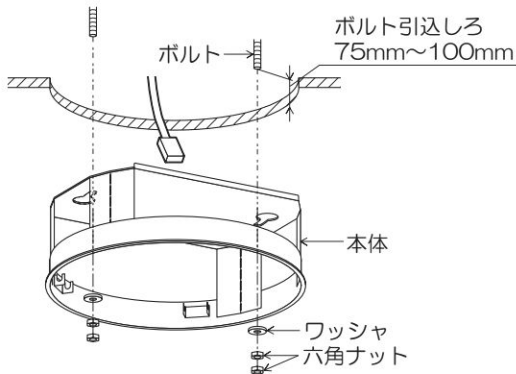
取付バネをバネ受けから外す。



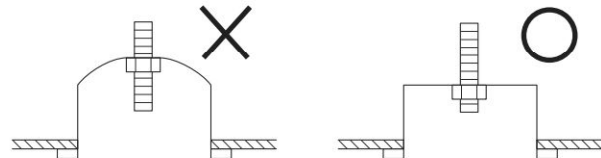
4 本体を取付ける

ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

※ダブルナットで確実に取付けてください。



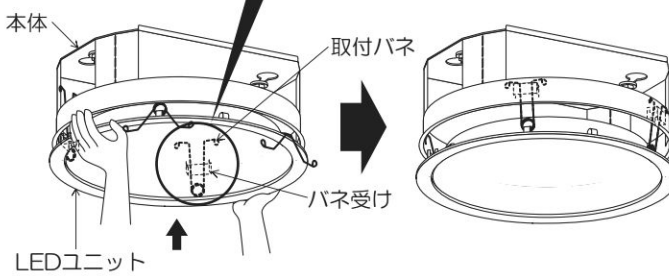
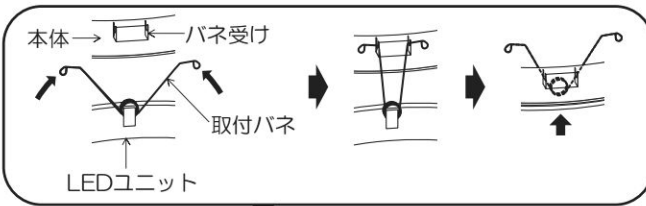
※六角ナットの締付トルクは1.0N・m以下です。
締付トルクが適正值を超えると、器具変形・天井面とのすきまの原因になります。すきまを確認しながら締め付けを調整してください。



5 LEDユニットを仮吊りする

LEDユニットの取付バネ(4本)を本体のバネ受けに引っ掛ける。

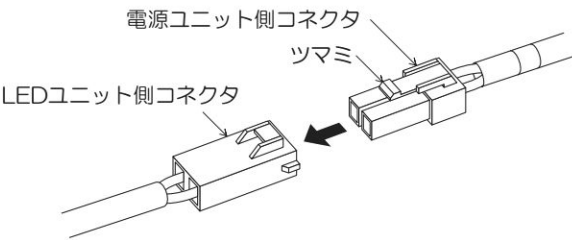
※電源ユニットとLEDユニットのコネクタの向きを合わせてください。



6 コネクタを接続する

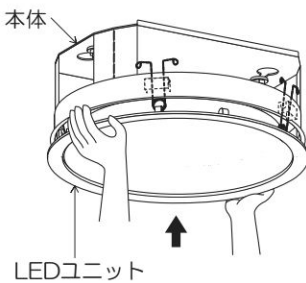
LEDユニット側コネクタと電源ユニット側コネクタを確実に差し込む。
外す時はツマミを押しながら抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



7 LEDユニットを取付ける

LEDユニットをまっすぐ押し上げ、本体に取付ける。



8 点灯の確認を行なう